

青色が目印

特製ジャンパーを着て
ごみ拾いにご協力を

市は自主的な清掃活動をPRすることで、まち全体への美化意識の広がりを目指す、美化ボランティア制度の登録者を4月から募集しています。4月上旬に市内各所で行った狂犬病の予防接種会場では、「犬の散歩の機会にごみ拾いなどに取り組んで」と登録を呼び



▶オリジナルジャンパー

かけ、賛同者へジャンパーを配布しました。

地域防犯活動の拠点

南摂津サービスコーナー跡に
防犯ステーションを開所



モノレール南摂津駅下に設置していた市民サービスコーナーが3月末で廃止されたことに伴い、市は跡地を活用し、防犯活動の拠点となる「南摂津防犯ステーション」を開所しました。

同所は、防犯協会の事務局を置き、地域住民や事業所の防犯委員、セーフティパトロール隊などの防犯活動の拠点として活用されます。また、摂津警察署員の立ち寄り所にもなり、施設には赤色灯を設置して夜間に点灯させるなど、駅周辺の治安の向上を図ります。4月18日に開所式と街頭キャンペーンが行われ、防犯委員らが通勤・通学客に「振り込め詐欺に注意を」と呼びかけました。

19人に

市議会議員
定数2減

3月29日、第1回市議会定例会の本会議で、議員定数を21人から2減して19人とする事が決まりました。定数削減は平

成25年以來となります。今年9月29日の任期満了に伴う次期市議会議員選挙から適用されます。



▶(右から)小川久雄・国循理事長、森山一正・摂津市長、細川眞哉・市医師会長

全国で初めて 国循と

心筋梗塞を未然に防ぐ
キャンペーンを開始

市と国立循環器病研究センター(国循)は、本市をモデル地区とした「STOP MIキャンペーン(心筋梗塞(MI)から大切な命を守るう)」を全国に先駆けて4月から開始しました。心筋梗塞による死亡割合の指標で、摂津市は大阪府内で2番目に高い数値となっています。同

部の痛みや圧迫感、胸焼けなど心筋梗塞の前兆の症状を市民に知ってもらい、早期受診・治療につないで、死亡者数の減少を目指します。本市と国循は、平成27年に医療や健康づくりに関する連携協定を締結しており、循環器病予防・制圧に向けた具体的な取り組みとして、市医師会などの協力のもと、健康講座(今号16ページに掲載)の開催や、特定健診・がん検診会場での啓発ビデオ放映、市内医療機関・薬局でのポスター掲示などを展開していきます。3月31日に行われた会見で森山一正市長は、市民と心一つにして全国に予防医療を発信していきたい」と話しました。